

2022年 休眠預金活用事業 うつ病予防支援 内定団体一覧（全5団体 五十音順）

特定非営利活動法人 こどもたちのこどもたちのこどもたちのために

「特定非営利活動法人 こどもたちのこどもたちのこどもたちのために」が実施する、休眠預金等活用事業「うつ病予防支援 ～東京で働く人をうつにさせない～」について、外部選定委員による審査を実施し、内定団体が決定いたしました。内定団体の名称、申請事業の名称及び概要、選定過程、選定理由、助成総額とその算定根拠を、公募要領 P12「審査結果の通知」に基づき、以下の通り公開いたします。

* 助成額は実行団体よりご提出いただいた事業計画書・資金計画書に基づき算定しています。

団体名	所在地	申請事業名	助成額	総事業費			
				直接事業費	管理的経費	評価関連経費	
株式会社 イーガイア	東京都	睡眠の問題発見・解決によるうつ病予防	¥20,993,500	¥25,993,500	¥22,603,500	¥2,398,000	¥992,000
事業概要			採択のポイント				
日本人の5人に1人が睡眠課題を有し、睡眠不調による国の経済損失が約15兆円に上ると試算がある。近年の研究で睡眠不調は日中の眠気や倦怠感だけでなく、うつや認知症といった重大疾患と関連することも明らかになった。 本事業はそうした状況下、若年層、働く世代、高齢者を対象とした、睡眠課題の発見と改善によってうつ病などを軽減するサービスの確立を目的とする。 具体的にはうつ病リスクと睡眠悪化の双方が認められる対象者を抽出し、睡眠脳波計測によって詳細な睡眠障害リスクを評価したうえで、認知行動療法をベースとした睡眠改善施策を提供する。 さらに効果検証として睡眠改善効果とそれによるうつ病リスクの軽減効果を評価する。			大企業へのリーチがあり、そのうつ病罹患リスクの高い層（社会的弱者になりうる）をターゲットとした事業運営が可能。課題とその解決策の設定が妥当と思われる。事業の費用対効果を改善する意欲があり、3年目にローコストのサービスとして社会実装を企画し、費用対効果を改善する意図が明瞭なところが評価できる。 委託先のS'UIMIN社にも、資金分配団体のプログラム・オフィサーが介入し伴走支援が可能。エビデンスを重視した運営を行っており、他団体との協業可能性も高く、うつ病予防のための重要な打ち手となる可能性がある。				
特定非営利活動法人 森林セラピーソサエティ	東京都	東京の働く人への森を活用したメンタルヘルスサポート事業	¥23,573,944	¥29,573,944	¥24,045,504	¥4,828,440	¥700,000
事業概要			採択のポイント				
ストレスは感情の興奮を招き、自律神経に影響を与え、不眠を喚起し、時に、鬱を含めた精神疾患の契機ともなる。その予防として、自律神経の調整に効果がある森林セラピーを、企業へ提供する手法を提供する。 事業の第一段階：①自律神経をセルフモニタリングできるアプリを開発。②セルフケア・チームケアを促進するウェルビーイングプログラムの開発、森林セラピストへの教育を実施。 第2段階：モニター企業を募集し、アプリを提供。森林セラピーを都市公園や、東京・埼玉・神奈川・山梨の森林セラピー基地で実施し、有効性を確認する。 第3段階：健康経営に関心のある企業を対象にシンポジウムを開催し、まずは10社の企業との契約を目指す。			メンタルヘルスに不調を抱える方に対するの定量的な測定を実施し、その多様性についての理解があり、課題の本質を捉えたコンテンツを提供できる。多年にわたる事業実施の結果、うつ病予防の結果に結びつけるためのロジックが示されている。特定の森林での効果に限定されず、多くの森林で事業展開を促すことができる事業体であるため、事業実施後の費用対効果について期待できる。 エビデンスや客観的なデータ、およびうつ病予備群に対するのリーチが充分とはいえないが、エビデンスに対するの理解があり、PDCAサイクルを回してエビデンスを新たに作り上げていく体制がある。加えて、当法人のプログラム・オフィサーの伴走支援を受け入れる意志もあり、うつ病予備群に対するのリーチを持つ他団体とのシナジーが期待できる。				
特定非営利活動法人 東京メンタルヘルス・スクエア	東京都	いつでも安心して相談できる電話、対面、オンライン相談環境構築によるうつ予防	¥24,749,000	¥50,449,000	¥43,283,000	¥6,566,000	¥600,000
事業概要			採択のポイント				
十分に教育されたカウンセラーによる電話・オンライン・対面相談の質と量を増加。 そのために ①カウンセラーの採用と育成を強化。 ②現役世代のカウンセラーが日中に相談業務可能とするために相談業務で生活可能な報酬を支払う。 ③原則池袋オフィスでの実施である電話・オンライン・対面相談を安全にテレワークで実施できる環境を構築。 ④同じ志を持つ団体と相互に紹介し合える環境を構築。 ⑤継続支援が必要な方に医療、専門カウンセリング、セラピー等を紹介。 ⑥安全で無料の居場所を自己収入で運営できる成功事例を作り、日本各地のNPOと共有することで全国的なセーフティネット化する。			電話相談、SNS相談でメンタルヘルスに課題を抱える個人を支援していく事業を実施しており、課題とその解決策の設定が妥当と思われる。企業が実施する支援から漏れる社会的弱者を対象とする体制となっていること、また、相談員の専門性、総合力を高める意欲についても評価できる。 当法人のプログラム・オフィサーの伴走支援を受け入れる柔軟性を備えている。他団体とのシナジーが期待でき、重度対象者への対応として位置付け、持続可能な事業モデルの構築が期待できる。				
株式会社 フェアワーク	東京都	パルスサーベイとカウンセリングを活用したうつ病の早期発見と予防支援	¥23,987,000	¥29,987,000	¥26,528,000	¥2,379,000	¥1,080,000
事業概要			採択のポイント				
本事業の目的は、東京都の労働者に対し、ストレスに対する正しい理解とセルフマネジメントスキルを高めること（一次予防）、ならびにうつ病予備群の早期発見・早期介入（二次予防）を行うことである。 本事業では、対象者に対して3つのサービス提供を行う。第一に、e-learning形式でのセルフケア研修を行う。第二に、月に1回「業務・人間関係・体調・パフォーマンス・幸福度」の5項目を尋ねるパルスサーベイを実施し、高リスク群にはアラートを付与することでセルフマネジメントと上長からのケアを促す。第三に、上記のアラート者に対して、メンタルヘルスに関する情報提供、オンラインカウンセリングならびに他の実行団体が行うセラピーの勧奨を行う。			実名を用いたパルスサーベイにより対象者の定点観測が可能で、課題とその解決策の設定が妥当なことが評価できる。医師、臨床心理士などの介入により、適切な事業実施体制と考えられる。 パルスサーベイは本邦において、うつ病罹患リスクといったネガティブな評価にどれほど用いられるか、まだ試験段階となっているが、成功すれば社会的インパクトとして他への影響も大きく期待できる。				
一般社団法人 ローランズプラス	東京都	植物療法を通じた働く人のうつ病予防プロジェクト	¥19,400,000	¥38,900,000	¥35,920,000	¥2,650,000	¥330,000
事業概要			採択のポイント				
メンタルヘルスの悩みは社会の大きな問題となる一方で、労働者に対して実施できる対策は限られている。本事業では、メンタルヘルスに不安を抱えていたり軽度のうつ症状がみられる、またそれを予防したい企業従業員に対して、花や植物との触れ合いを通じた心の予防研修を、精神等障害者を従業員7割以上雇用する花屋ローランズが提供する。 研修は花や植物との触れ合いを通じて心の状態を見つめなおし、ストレスコントロールを習得化することが目的だが、花や植物を取り扱うことで研修1回でも心のリセット機会にできることが特徴である。 ローランズの心の支援ノウハウを活かし、一人でも多くの労働者のうつ病一次・二次予防の対策を届けたい。			企業へのリーチがあり、かつ精神障害者を多く抱える施設での運営ノウハウ、事業実施のプロジェクトマネジメントは高く評価できる。事業の費用対効果を改善する意欲があり、客観的な情報を重視して、社会に向けて健全な情報発信を行うことが期待できる。 花がメンタルヘルスに与える影響についてのエビデンスがやや弱い。無理にエビデンスを作り上げるのは好ましくないが、アンケートレベルでの効果検証は必須。対象者の絞り込み方法と、課題解決に向けたロジックを改善すれば大きな効果が期待できる。				